

肝疾患センター

原著論文

- 1 *Ide T, Eguchi Y, Harada M, Ishii K, Morita M, Morita Y, Sugiyama G, Fukushima H, Yano Y, Noguchi K, Nakamura H, Hisatomi J, Kumemura H, Shirachi M, Iwane S, Okada M, Honma Y, Arinaga-Hino T, Miyajima I, Ogata K, Kuwahara R, Amano K, Kawaguchi T, Kuromatsu R, Torimura T; DAAs Multicenter Study Group: Evaluation of Resistance-Associated Substitutions in NS5A Using Direct Sequence and Cycleave Method and Treatment Outcome with Daclatasvir and Asunaprevir for Chronic Hepatitis C Genotype 1. PLoS One. 11(9): e0163884, 2016.
- 2 ○垣内俊彦, 大枝 敏, 岩根紳治, 泉 夏美, 松尾宗明, 江口有一郎: 妊婦健診における肝炎ウイルス検査に対する意識調査. 肝臓 57巻 8号: 376-381, 2016.
- 3 *Nishida N, Ohashi J, Khor SS, Sugiyama M, Tsuchiura T, Sawai H, Hino K, Honda M, Kaneko S, Yatsushashi H, Yokosuka O, Koike K, Kurosaki M, Izumi N, Korenaga M, Kang JH, Tanaka E, Taketomi A, Eguchi Y, Sakamoto N, Yamamoto K, Tamori A, Sakaida I, Hige S, Itoh Y, Mochida S, Mita E, Takikawa Y, Ide T, Hiasa Y, Kojima H, Yamamoto K, Nakamura M, Saji H, Sasazuki T, Kanto T, Tokunaga K, Mizokami M: Understanding of HLA-conferred susceptibility to chronic hepatitis B infection requires HLA genotyping-based association analysis. Sci Rep. 6: 24767, 2016.
- 4 Oeda S, Iwane S, Takasaki M, Furukawa NE, Otsuka T, Eguchi Y, Anzai K: Optimal Follow-up of Patients with Viral Hepatitis Improves the Detection of Early-stage Hepatocellular Carcinoma and the Prognosis of Survival. Intern Med. 55(19): 2749-2758, 2016.
- 5 *小野正文, 西原利治, 高橋宏和, 江口有一郎, 兵庫秀幸: 脂肪肝に対する肥満と飲酒の影響について. アルコールと医学生物学 34巻: 108-113, 2016.

総 説

- 1 江口有一郎: 【NAFLD/NASH-病態に基づいた診断, 治療戦略】健康診断・人間ドックから見た脂肪肝の現状. カレントセラピー 34巻 7号: 632-637, 2016.
- 2 岩根紳治, 江口有一郎: 【糖尿病治療の現在と未来】慢性合併症の予防と治療の進歩 糖尿病診療における NASH/NAFLD. 診断と治療 104巻 Suppl: 184-188, 2016.
- 3 ○高橋宏和, 江口有一郎, 安西慶三: 【新時代の臨床糖尿病学 (下) - より良い血糖管理をめざして -】特殊な糖尿病 二次性糖尿病 肝疾患による糖尿病. 日本臨床 74巻増刊 2 新時代の臨床糖尿病学 (下): 587-591, 2016.

症例報告

- 1 ○前間真弓, 林 章浩, 池田弘典, 皆良田貴之, 椎島久美子, 板村裕子, 蒲地俊介, 朝長元輔, 井手貴雄, 北村浩晃, 桑野彰人, 今長谷尚史, 江口有一郎: 転落外傷による中枢性高体温と吸収熱から著明な体重減少を来し, NST 介入により体重減少抑制となった一例. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 31巻 1号: 608, 2016.

学会発表

国際規模の学会

- 1 *Koga F, Otsuka T, Gotanda K, Araki N, Murayama K, Isoda H, Nakashita S, Akiyama T, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Kawazoe S, Ozaki I, Anzai K: Bolus Administration of CDDP with 5Fu in Hepatic Arte-

- rial Infusion Chemotherapy for Advanced HCC. APASL201. 2016, 2, 20-24. Hepatol Int (2016) 10 (Suppl 1): S1-S506P-0648.
- 2 °Takahashi H, Kitajima Y, Kubotsu Y, Oeda S, Anzai K, Eguchi Y: Exercise training mediates lipid infiltration of skeletal muscle and contributes to improve pathogenesis of NAFLD. American Association for The study of Liver Diseases (AASLD) - The Liver Meeting 2016. 2016, 11, 15.
 - 3 *Kuwashiro T, Ozaki I, Iwane S, Matsuhashi S, Isoda H, Koga F, Otsuka T, Eguchi Y, Anzai K: Extracellular matrices impair the IFN- α signaling via the β 1-integrin-mediated signaling. 25th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. 2016, 2, 20-24. Hepatol Int (2016) 10 (Suppl 1): S1-S506P-0010.
 - 4 °Murayama K, Nakashita S, Otsuka T, Gotanda K, Araki N, Isoda H, Koga F, Nakashita S, Akiyama T, Kawaguchi Y, Eguchi Y, Kawazoe S, Mizuta T, Anzai K: Hepatic arterial infusion chemotherapy VS sorafenib for conventional TACE-refractory HCC. 25th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. 2016, 2, 20-24. Hepatol Int (2016) 10 (Suppl 1): S1-S506P-0651.
 - 5 Oeda S, Iwane S, Eguchi Y, Anzai K: Surveillance of viral hepatitis affects not only the detection. 25th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. 2016, 2, 20-24. Hepatol Int (2016) 10 (Suppl 1): S1-S506P0688.
 - 6 *Okada M, Furukawa N, Oeda S, Iwane S, Anzai K, Eguchi Y: Advice of doctors and surrounding people influence decisions on hepatitis screening and treatment. 25th Conference of the Asian Pacific Association for the Study of the Liver. 2016, 2, 20-24. Hepatol Int (2016) 10 (Suppl 1): S1-S506P1041.

国内全国規模の学会

- 1 江口有一郎：B型肝炎から肝がんを減らすための戦略を探る。第31回日本環境感染学会総会・学術集会。2016, 2, 20. LS27.
- 2 江口有一郎, 高橋宏和, 兵庫秀幸, 小野正文, 安西慶三：肥満診療に潜むNASHとNASH診療に潜む肥満症。第37回日本肥満学会。2016, 10, 7-8. 肥満研究 22巻 Suppl.: 125.
- 3 藤井純子, 永渕美樹, 泉 夏美, 岩根紳治, 大枝 敏, 岡田倫明, 江口有一郎, 安西慶三：佐賀県糖尿病療養指導士・肝炎コーディネーターによる共同研修会の取り組み。第4回日本糖尿病療養指導士学術集会。2016, 7, 23-24. 抄録集 P50-O3-5.
- 4 °Guo Jing, 尾崎岩太, 夏 京合, 桑代卓也, 小島基靖, 江口有一郎, 安西慶三, 松橋幸子：腫瘍抑制遺伝子PDCD4による肝癌細胞の細胞周期とapoptosisの調節。第52回日本肝臓学会総会。2016, 5, 19-20. 肝臓 57巻 Suppl. 1 : A245.
- 5 *本間雄一, 井出達也, 岩根紳治, 江口有一郎, 鳥村拓司, 原田 大：ダクラタスビル／アスナプレビル併用療法の効果に影響する因子と腎機能障害例への安全性。第102回日本消化器病学会総会。2016, 4, 21-23. 日本消化器病学会雑誌 113巻 Suppl. 1 : A252.
- 6 *本間雄一, 井出達也, 柴田道彦, 日浦政明, 岩根紳治, 江口有一郎, 鳥村拓司, 原田 大：直接作用型抗ウイルス剤によるC型慢性肝疾患治療後の肝発癌リスク予測因子の検討。第20回日本肝臓学会大会。2016, 11, 3-4. 肝臓 57巻 Suppl. 2 : A540.
- 7 *井出達也, 江口有一郎, 原田 大：SVRを目指したDAA製剤の選択 多施設共同研究におけるC型肝炎へのDAA治療の検討。第58回日本消化器病学会大会。2016, 11, 3-6. 日本消化器病学会雑誌 113巻 Suppl. 2 : A499.

- 8 *井出達也, 江口有一郎, 鳥村拓司: ウイルス性肝炎の新時代に向けてC型肝炎での重度の合併症を有する例・高度肝線維化進展例への DAAs 治療の現況. 第52回日本肝臓学会総会. 2016, 5, 19-20. 肝臓 57巻 Suppl. 1 : A156.
- 9 岩根紳治: C型慢性肝炎に対するペグインターフェロン・リバビリン療法に食事・運動療法による体重減量が与える影響. 第81回インターフェロン・サイトカイン学会学術集会. 2016, 5, 13-14. SY- 2.
- 10 岩根紳治, 江口有一郎, 本間雄一, 原田 大, 井出達也, 鳥村拓司: ダクラタスビル・アスナプレビルによるC型慢性肝疾患治療後のALB上昇に関する検討. 第20回日本肝臓学会大会. 2016, 11, 3-4. 肝臓 57巻 Suppl. 2 : A539.
- 11 ◯垣内俊彦, 江口有一郎, 松尾宗明: 佐賀県小児科勤務医における小児B型/C型肝炎に対する意識・診療実態調査. 第52回日本肝臓学会総会. 2016, 5, 19-20. 肝臓 57巻 Suppl. 1 : A191.
- 12 ◯垣内俊彦, 大枝 敏, 岩根紳治, 江口有一郎: B型肝炎ワクチン接種全額助成地区におけるB型肝炎ワクチンに関する意識調査. 第102回日本消化器病学会総会. 2016, 4, 21-23. 日本消化器病学会雑誌 113巻 Suppl. 1 : A262.
- 13 ◯河田望美, 中村紗耶香, 松尾有菜, 山崎孝太, 小島基彦, 寺坂喜子, 松田やよい, 山口美幸, 岩根紳治, 江口有一郎, 安西慶三: 非アルコール性脂肪肝炎診断システムの構築と現状. 第59回日本糖尿病学会年次学術集会. 2016, 5, 19-29. 糖尿病 59巻 Suppl. 1 : S-356.
- 14 ◯北島陽一郎, 高橋宏和, 江口有一郎: NAFLD, T2DM 合併 NAFLD への食事運動介入による筋の質と量の改善は慢性腎臓病の進行を抑制する. 第52回日本肝臓学会総会. 2016, 5, 19-20. 肝臓 57巻 Suppl. 1 : A384.
- 15 ◯北島陽一郎, 高橋宏和, 窪津祥仁, 濱岡和宏, 小野尚文, 江口尚久, 江口有一郎, 安西慶三, JSG-NAFLD: 非代償性肝硬変患者への分岐鎖アミノ酸療法と骨格筋の関与. 第20回日本肝臓学会大会. 2016, 11, 3-4. 肝臓 57巻 Suppl. 2 : A607.
- 16 ◯窪津祥仁, 小野尚文, 濱岡和宏, 江口尚久, 大枝 敏, 江口有一郎: Shear Wave Elastography による肝硬度の評価および問題点. 日本超音波医学会第89回学術集会. 2016, 5, 27-29. 超音波医学 43巻1号: 154.
- 17 ◯窪津祥仁, 高橋宏和, 江口有一郎: NAFLD・NASH の進展は動脈硬化, 慢性腎臓病の進展と関連する. 第52回日本肝臓学会総会. 2016, 5, 19-20. 肝臓 57巻 Suppl. 1 : A380.
- 18 ◯窪津祥仁, 高橋宏和, 江口有一郎: NAFLD/NASH 研究の新知見から臨床への新たな戦略 GLP-1 アナログ製剤リラグルチドは, 非アルコール性脂肪性肝疾患の病態改善に寄与する. 第102回日本消化器病学会総会. 2016, 4, 21-23. 日本消化器病学会雑誌 113巻 Suppl. 1 : A128.
- 19 ◯窪津祥仁, 高橋宏和, 北島陽一郎, 田中賢一, 江口有一郎, 安西慶三: NAFLD の病態進展, 糖・脂質代謝の動脈硬化, 慢性腎臓病への影響. 第20回日本肝臓学会大会. 2016, 11, 3-4. 肝臓 57巻 Suppl. 2 : A568.
- 20 ◯窪津祥仁, 高橋宏和, 江口有一郎: GLP-1 アナログ製剤リラグルチドは非アルコール性脂肪性肝疾患の病態改善に寄与する. 第102回日本消化器病学会総会. 2016, 4, 21-23. 日本消化器病学会雑誌 113巻 Suppl. 1 : 128.
- 21 大枝 敏, 岩根紳治, 江口有一郎: 佐賀県におけるB型慢性肝炎に対する抗ウイルス療法の現状. 第20回日本肝臓学会大会. 2016, 11, 3-4. 肝臓 57巻 Suppl. 2 : A531.

- 22 大枝 敏, 小野尚文, 安藤 彩, 松本康恵, 窪津祥仁, 江口有一郎, 安西慶三: VTQ の信頼性に影響する因子の検討. 日本超音波医学会第89回学術集会. 2016, 5, 27-29. Jpn J Med Ultrasonics Vol.43 Supplement (2016): 112.
- 23 *緒方 啓, 井出達也, 有永照子, 宮島一郎, 桑原礼一郎, 天野恵介, 川口 巧, 黒松亮子, 古賀浩徳, 本間雄一, 岡田倫明, 岩根紳治, 江口有一郎, 原田 大, 鳥村拓司: C型慢性肝疾患に対する Daclatasvir および Asunaprevir 併用療法抵抗例の解析 (多施設共同研究) (会議録). 第20回日本肝臓学会大会. 2016, 11, 3-4. 肝臓 57巻 Suppl. 2 : A534.
- 24 *小野尚文, 濱岡和宏, 窪津祥仁, 江口尚久, 大枝 敏, 江口有一郎, 安西慶三: 肝画像診断法としての Strain Imaging の現状 (Shear Wave Imaging を含めて). 日本超音波医学会第89回学術集会. 2016, 5, 27-29. Jpn J Med Ultrasonics Vol.43 Supplement (2016): 118.
- 25 *岡田倫明, 井出達也, 江口有一郎: 腎機能低下症例におけるダクラタスビル・アスナプレビル併用療法の意義. 第52回日本肝臓学会総会. 2016, 5, 19-20. 肝臓 57巻 Suppl. 1 : A181.
- 26 *酒井愛子, 小杉山清隆, 植竹公明, 勝田友博, 今村 淳, 高野智子, 森岡一朗, 牛島高介, 関 祥孝, 江口有一郎, 森内浩幸, 須磨崎亮: 定期接種化前の日本の小児におけるB型肝炎ウイルス感染実態 多施設共同研究による調査. 第43回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2016, 9, 16-18. 日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 30巻 Suppl. : 91.
- 27 °高橋宏和, 北島陽一郎, 安西慶三, 江口有一郎: NAFLD に対する食事運動療法では骨格筋の肥大よりも脂肪化の改善を目指すことが重要である. 第37回日本肥満学会. 2016, 10, 7-8. 肥満研究 22巻 Suppl : 206.
- 28 °高橋宏和, Laurie Goodyear, 江口有一郎, 安西慶三: 脂肪組織における運動効果と運動惹起性アディポカインの探索. 第37回日本肥満学会. 2016, 10, 7-8. 肥満研究 22巻 Suppl : 244.
- 29 °夏 京合, 尾崎岩太, Jing Guo, Md.manirujjaman, 田中賢一, 小島基靖, 桑代卓也, 江口有一郎, 安西慶三, 松橋幸子: 肝癌細胞においてBCAAはPKCsを介してYAPを抑制する. 第39回日本分子生物学会年会. 2016, 11, 30-12, 2. 2P-0400.

地方規模の学会

- 1 °別府宏一郎, 野下祥太郎, 窪津祥仁, 吉岡 航, 村山賢一郎, 秋山 巧, 高橋宏和, 安西慶三, 江口有一郎: 肝硬変患者において猫咬傷を契機に Pasteurella 腹膜炎を来した一例. 第108回日本消化器病学会九州支部例会. 2016, 11, 25-26. 研10 (消).
- 2 °星野有紀, 吉岡 航, 野下祥太郎, 窪津祥仁, 村山賢一郎, 秋山 巧, 高橋宏和, 江口有一郎, 芥川剛至, 青木茂久, 戸田修二, 江口有一郎: ステロイド減量中に自己免疫性膵炎の増悪, IgG4関連硬化性胆管炎を発症したIgG4関連疾患の一例. 第108回日本消化器病学会九州支部例会. 2016, 11, 25-26. 研58 (消).
- 3 *五反田香, 濱岡和宏, 小野尚文, 江口尚久, 江口有一郎: 地方一般病院でのC型慢性肝炎に対するIFN free療法における工夫と実態. 第108回日本消化器病学会九州支部例会. 2016, 11, 25-26. 専27 (消).
- 4 *五反田香, 小野尚文, 濱岡和宏, 江口尚久, 大枝 敏, 江口有一郎, 高橋宏和, 安西慶三: 肝腫瘍における造影エコー法 Parametric Imaging. 日本超音波医学会第26回九州地方会学術集会. 2016, 10, 2. 肝(3)-025.
- 5 °河田望美, 井上 瑛, 中尾仁美, 松尾有菜, 森 仁恵, 小島基靖, 井上佳奈子, 山内寛子, 松田や

よい, 岩根紳治, 江口有一郎, 安西慶三: NASH から肝がんを発症したと考えられる 7 例についての検討. 第54回日本糖尿病学会九州地方会. 2016, 10, 15. 抄録集 2I-14.

- 6 °小林孝臣, 野下祥太郎, 窪津祥仁, 吉岡 航, 村山賢一郎, 秋山 巧, 高橋宏和, 安西慶三, 江口有一郎: 肝硬変患者において猫咬傷を契機に Pasteurella 感染症をきたした 2 例. 第41回日本肝臓学会東部会. 2016, 12, 8-9. 肝臓 57巻 Suppl. 3 : A832
- 7 宮原千賀, 岩根紳治, 江口有一郎, 原田 大, 井出達也: 慢性腎臓病 (CKD) を伴う C 型慢性肝炎疾患に対する抗ウイルス療法戦略. 第108回日本消化器病学会九州支部例会. 2016, 11, 25-26. WS1-04 (消).
- 8 °野下祥太郎, 窪津祥仁, 吉岡 航, 村山賢一郎, 秋山 巧, 高橋宏和, 相島慎一, 江口有一郎, 安西慶三: 多発限局性結節性過形成を合併した再発肝細胞癌の一例. 第108回日本消化器病学会九州支部例会. 2016, 11, 25-26. 専26 (消).
- 9 *小野尚文, 五反田香, 濱岡和宏, 江口尚久, 大枝 敏, 江口有一郎, 高橋宏和, 安西慶三: 肝疾患 (腫瘍性病変) に対する Strain Imaging. 日本超音波医学会第26回九州地方会学術集会. 肝(3)-024.
- 10 °高橋宏和, 北島陽一郎, 安西慶三, 江口有一郎: NAFLD に対する食事運動療法の効果に骨格筋量と脂肪量が与える影響. 第108回日本消化器病学会九州支部例会. 2016, 11, 25-26. S4-05 (消).
- 11 °高橋宏和, 北島陽一郎, 江口有一郎: 非アルコール性脂肪肝に対する食事運動療法における骨格筋量と脂肪沈着の変化. 第41回日本肝臓学会東部会. 2016, 12, 8-9. 肝臓 57巻 Suppl. 3 : A642.
- 12 °高橋宏和, 片桐さやか, 江口有一郎: 肥満と肝疾患菌周病原細菌が NAFLD/NASH へ及ぼす影響. 第41回日本肝臓学会東部会. 2016, 12, 8-9. 肝臓 57巻 Suppl. 3 : A726.
- 13 °吉岡 航, 大枝 敏, 窪津祥仁, 高橋宏和, 小野尚文, 江口有一郎, 末岡榮三郎, 安西慶三: FibroScan 測定困難例における SWE (Share Wave Elastography) の有用性. 日本超音波医学会第26回九州地方会学術集会. 2016, 10, 2. YIA-006.

その他の学会

- 1 °窪津祥仁, 安西慶三, 高橋宏和, 濱岡和宏, 北島陽一郎, 小野尚文, 江口尚久, 江口有一郎: NAFLD における線維化伸展と動脈硬化, 慢性腎臓病の関連. 第24回肝病態生理研究会. 2016, 5, 18. SY4-24.
- 2 *北島陽一郎, 窪津祥仁, 濱岡和宏, 小野尚文, 江口尚久, 高橋宏和, 安西慶三, 江口有一郎: NAFLD, T2DM 合併 NAFLD への食事運動介入は肝筋腎連関で慢性腎臓病を抑制する. 第24回肝病態生理研究会. 2016, 5, 18. SY4-25.
- 3 *北島陽一郎, 高橋宏和, 窪津祥仁, 濱岡和宏, 小野尚文, 江口尚久, 角田圭雄, 兵庫秀幸, 江口有一郎, 安西慶三: NASH 進展におけるサルコペニア肥満と筋脂肪化, 膵 β 細胞機能低下との関係. 第3回肝臓と糖尿病・代謝研究会. 2016, 7, 16. P-38.
- 4 °窪津祥仁, 高橋宏和, 北島陽一郎, 江口有一郎, 安西慶三: NAFLD の線維化進展と糖尿病合併による慢性腎臓病への影響. 第3回肝臓と糖尿病・代謝研究会. 2016, 7, 16. P-39.
- 5 °永瀨美樹, 藤井純子, 泉 夏美, 岩根紳治, 大枝 敏, 岡田倫明, 江口有一郎, 安西慶三: 肝疾患・糖尿病患者の支援における専門職種知識と活動の現状. 第3回肝臓と糖尿病・代謝研究会. 2016, 7, 16. P-59.
- 6 °村山賢一郎, 大塚大河, 五反田香, 荒木紀匡, 磯田広史, 古賀風太, 中下俊哉, 秋山 巧, 河口泰

- 典, 江口有一郎, 安西慶三: TACE 不応進行肝細胞癌に対する肝動注化学療法とソラフェニブの比較. 第52回日本肝癌研究会. 2016, 7, 1-2. 化学療法・分子標的治療(3) O-16-1.
- 7 江口有一郎: 脂質異常症や糖尿病に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために. レミッチ効能追加記念講演会 in 大分. 2016, 1, 14.
 - 8 江口有一郎: 脂質異常症や糖尿病に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために. 第74回岡山肝疾患懇話会. 2016, 1, 19.
 - 9 江口有一郎: C型肝炎治療の最前線. 多久・小城地区医師会学術講演会. 2016, 1, 20.
 - 10 江口有一郎: 佐賀県の今後の課題. 佐賀県肝癌対策医会～C型肝炎ウイルスの終焉を迎えて～. 2016, 1, 29.
 - 11 江口有一郎: 佐賀県の肝がん粗死亡率ワーストワン汚名返上プロジェクト～地域ぐるみと多職種協働～. 肝炎連携福岡の会. 2016, 1, 30.
 - 12 江口有一郎: 肝がんの診断と治療. 平成27年度佐賀県看護協会看護共通研究会. 2016, 2, 3.
 - 13 江口有一郎: 脂質異常症や糖尿病に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために. 肝疾患学術講演会－レミッチ効能追加記念－. 2016, 2, 5.
 - 14 江口有一郎: C型肝炎をやっつける～肝がんを減らし, さらに気分晴れるコツとは?. 市民公開講座 C型肝炎治療最前線～飲み薬でC型肝炎ウイルスが排除できる時代～. 2016, 2, 6.
 - 15 江口有一郎: 生活習慣病の診療現場に潜む非アルコール性脂肪性肝疾患を見落とさないために. 第11回九州糖尿病看護スキルアップセミナー. 2016, 2, 7.
 - 16 江口有一郎: 肝炎ウイルス検査について 佐賀県の肝炎対策事業・厚生労働省科学研究からの知見を活かして. 健診等実施機関事務連絡会議. 2016, 2, 14.
 - 17 江口有一郎: C型肝炎治療の最前線. 北肝炎病診連携の会. 2016, 2, 15.
 - 18 江口有一郎: 「C型肝炎はとうとう副作用のない飲み薬で治せる時代へ」～佐賀県の肝がん死亡率を下げるために～. ダイワの健康セミナー (大和証券佐賀支店). 2016, 2, 17.
 - 19 江口有一郎: 糖尿病や生活習慣病の診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために. 肝臓と生活習慣病を考える会. 2016, 2, 18.
 - 20 江口有一郎: 治療を思い留まるウイルス性肝炎未受療者の深層心理を理解した受療勧奨とは. 大分C型慢性肝炎セミナー－C型肝炎撲滅に向けて－. 2016, 2, 25.
 - 21 江口有一郎: 糖尿病や生活習慣病の診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために. 鳥取県東部医師会講演会. 2016, 3, 3.
 - 22 江口有一郎: 「今こそ, たたけ! 肝炎ウイルス効果絶大, 副作用のない新薬登場」佐賀県の肝がん死亡率全国ワースト1位を下げるために. ロータリークラブ健康講演会. 2016, 3, 5.
 - 23 江口有一郎: 朝倉医療圏C型肝炎撲滅プロジェクトのご提案－佐賀県肝がん粗死亡率ワースト1位汚名返上プロジェクトより－. 肝がん撲滅に向けたウイルス肝炎検診・フォローアップ促進事業に関する研修会. 2016, 3, 9.
 - 24 江口有一郎: 「B型肝炎・C型肝炎・脂肪肝・糖尿病」と言われたらどうするか?. 肝がん・糖尿病予防講演会. 2016, 3, 12.
 - 25 江口有一郎: 糖尿病や生活習慣病の診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために. 肝臓と糖尿病セミナー in 広島. 2016, 3, 17.
 - 26 江口有一郎: 治療を思い留まるウイルス性肝炎未受療者の深層心理を理解した受療勧奨とは. 栃木

- 県北地区C型肝炎治療講演会. 2016, 3, 18.
- 27 江口有一郎：佐賀県の肝がん粗死亡率全国ワースト1位汚名返上のための地域疾病対策～治療を思い留まる患者の心理の理解から，C型肝炎治療最新情報まで～. 宮崎県肝疾患専門医療従事者研修会. 2016, 3, 24.
 - 28 江口有一郎：未受療の深層心理を理解したウイルス性肝炎の受療促進のあり方. 沖縄県C型慢性肝炎病診連携懇話会. 2016, 4, 7.
 - 29 江口有一郎：糖尿病と肝疾患について. 佐賀糖尿病療養指導士会研修会. 2016, 5, 15.
 - 30 江口有一郎：B型肝炎から肝癌を減らすための戦略とは. 唐津東松浦医師会学術講演会. 2016, 5, 23.
 - 31 江口有一郎：職域でなぜC型肝炎対策が進まないのか？なぜ今重要なのか？～拾い上げのコツから最新治療まで～. 第89回日本産業衛生学会ランチョンセミナー. 2016, 5, 27.
 - 32 江口有一郎：治療を思い留まるウイルス性肝炎未受療者の深層心理を理解した受療勧奨とは. ひらかた肝炎病診連携講演会. 2016, 6, 2.
 - 33 江口有一郎：佐賀県のC型肝炎治療の現状. 佐賀県肝疾患検診医療提供体制指定研修会. 2016, 6, 3.
 - 34 江口有一郎：佐賀県の肝がん粗死亡率全国ワースト1位汚名返上のための地域疾患対策. 朝倉医師会学術講演会. 2016, 6, 14.
 - 35 江口有一郎：予期しないものは見えない～非アルコール性脂肪肝のこれからのポジショニング～. 第9回臨床消化器セミナー. 2016, 6, 28.
 - 36 江口有一郎：「びっくりするほどよく解る！肝がんにならないコツ」～ウイルス性肝炎と肝がん～. 肝炎検診・住民の集い. 2016, 7, 9.
 - 37 江口有一郎：B型肝炎から肝癌を減らすための戦略とは. 神崎市医師会学術講演会. 2016, 7, 11.
 - 38 江口有一郎：B型肝炎から肝癌を減らすための戦略とは. 多久市小城地区医師会学術講演会. 2016, 7, 12.
 - 39 江口有一郎：生活習慣病外来に潜む非アルコール性脂肪肝炎の罨. 第25回福岡県肝疾患相談セミナー. 2016, 7, 13.
 - 40 江口有一郎：脂質異常症や糖尿病に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために. レミッチ効能追加記念講演会 in 和歌山. 2016, 7, 14.
 - 41 江口有一郎：治療を思い留まるウイルス性肝炎未受療者の深層心理を理解した受療勧奨とは. Saitama Liver Meeting 2016. 2016, 7, 22.
 - 42 江口有一郎：“地域ぐるみ”で目指すワースト1位汚名返上プロジェクト. 第5回世界・日本肝炎デーフォーラム. 2016, 7, 23.
 - 43 江口有一郎：糖尿病診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないための連携のあり方. 広島肝臓・糖尿病講演会. 2016, 7, 28.
 - 44 江口有一郎：よく解る！B型・C型肝炎治療の爆新情報と肝がんにならないコツ. 平成28年度肝炎講演会. 2016, 7, 30.
 - 45 江口有一郎：肝がんにならないコツーウイルス性肝炎と肝がんー. 平成28年度市民公開講座. 2016, 7, 31.
 - 46 江口有一郎：B型肝炎から肝癌を減らすための戦略とは. 鹿島藤津地区医師会学術講演会. 2016,

- 8, 1.
- 47 江口有一郎：脂質異常症や糖尿病に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために。レミッチ効能追加1周年記念講演会 in 久留米。2016, 8, 25.
 - 48 江口有一郎：佐賀県における肝臓癌死亡率の最新情報の解釈と課題。佐賀県医師会学術講演会。2016, 9, 1.
 - 49 江口有一郎：糖尿病診療に潜む NASH～拾い上げから治療まで。NASH Treatment Seminar。2016, 9, 2.
 - 50 江口有一郎：B型肝炎から肝臓癌を減らすための戦略とは。佐賀東部ウイルス性肝炎勉強会。2016, 9, 5.
 - 51 江口有一郎：糖尿病や生活習慣病の診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために。阿蘇郡市医師会学術講演会。2016, 9, 6.
 - 52 江口有一郎：予期しないものは見えない～糖尿病診療に潜む NAFLD・NASH。第32回糖尿病診療を考える会。2016, 9, 12.
 - 53 江口有一郎：B型肝炎から肝臓癌死を減らすための戦略とは。ワクチンインターネット講演会。2016, 9, 13.
 - 54 江口有一郎：肥満は肝臓病の大敵！脂肪肝も肝臓癌の原因!?。肝臓病市民公開講座。2016, 9, 17.
 - 55 江口有一郎：予期しないものは見えない～糖尿病診療に潜む NAFLD・NASH 診療に潜む肝外合併症。レミッチ効能追加1周年記念講演会 in 高知。2016, 9, 20.
 - 56 江口有一郎：今こそB型肝炎・C型肝炎・肥満・糖尿病をやっつける 最新情報とコツ。柳川市民公開講座。2016, 9, 24.
 - 57 江口有一郎：B型肝炎から肝臓癌を減らすための戦略とは。武雄・杵島地区医師会学術講演会。2016, 9, 26.
 - 58 江口有一郎：予期しないものは見えない～糖尿病診療に潜む NASH&NASH 診療に潜む肝外合併症。学術講演会～ポストウイルス時代の次の課題～。2016, 9, 29.
 - 59 江口有一郎：今だから知ってほしい肝臓癌になる前に治してほしいウイルス性肝炎最新治療。けんぼれん 第64回健康教室。2016, 10, 9.
 - 60 江口有一郎：健康経営につながるB型肝炎, C型肝炎対策。佐賀商工会議所 二水会。2016, 10, 12.
 - 61 江口有一郎：B型肝炎から肝臓癌死を減らすための戦略とは。ワクチン Online セミナー～朝活～。2016, 10, 13.
 - 62 江口有一郎：糖尿病や生活習慣病の診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために。千歳医師会学術講演会。2016, 10, 14.
 - 63 江口有一郎：B型肝炎から肝臓癌死を減らすための戦略とは。第20回日本ワクチン学会・学術集会。2016, 10, 23.
 - 64 江口有一郎：肝臓癌の基礎知識。平成28年度佐賀県がん看護研修会。2016, 10, 25.
 - 65 江口有一郎：C型肝炎の治療の現状と課題～劇的な抗ウイルス治療の進歩の中でなぜ治療者が増えないのか?～。第10回日本薬局学会学術総会。2016, 10, 30.
 - 66 江口有一郎：治療を思い留まるウイルス性肝炎未受療者の深層心理を理解した受療勧奨とは～経口治療の現状を踏まえて～。茨城県肝炎治療 DAA's ネットワーク。2016, 11, 1.

- 67 江口有一郎：糖尿病や生活習慣病の診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために。肝臓／糖尿病講演会2016。2016, 11, 7.
- 68 江口有一郎：びっくりするほどよく解る！肝がんにならないコツ。神崎市郡医師会市民公開講座。2016, 11, 19.
- 69 江口有一郎：治療を思い留まるウイルス性肝炎未受療者の深層心理を理解した受療勧奨とは～経口治療の現状を踏まえて～。いわて県南C型肝炎セミナー。2016, 11, 21.
- 70 江口有一郎：糖尿病診療に潜むNASH～拾い上げから治療まで。Diabetes Seminar 2016。2016, 11, 30.
- 71 江口有一郎：治療と職業生活の両立支援の現状と課題～佐賀県に多い肝炎・肝がんを事例として～。産業保健研修会治療と仕事の両立支援研修会。2016, 12, 2.
- 72 江口有一郎：治療を思い留まるウイルス性肝炎未受療者の深層心理を理解した受療勧奨とは～C型肝炎経口治療の現状を踏まえて～。兵庫肝疾患連携シンポジウム2016。2016, 12, 8.
- 73 江口有一郎：糖尿病や生活習慣病の診療に潜む非アルコール性脂肪肝炎を見落とさないために。多久・小城地区医師会学術講演会。2016, 12, 14.
- 74 岩根紳治：C型肝炎の最新治療。平成28年度地域保健福祉従事者研修会。2016, 1, 14.
- 75 岩根紳治：佐賀県のC型肝炎未受診者を減らす取り組み。第12回九州C型肝炎研究会。2016, 1, 30.
- 76 岩根紳治：糖尿病と肝疾患。佐賀地区糖尿病療養指導士・肝炎コーディネーター共同研修会。2016, 2, 2.
- 77 岩根紳治：肝がんの診断と治療。平成28年度佐賀県看護協会看護共通研修会。2016, 2, 3.
- 78 岩根紳治：C型肝炎の最新治療。C型肝炎等に関する保健指導従事者研修会。2016, 2, 10.
- 79 岩根紳治：糖尿病と肝疾患。伊万里地区糖尿病療養指導士・肝炎コーディネーター共同研修会。2016, 2, 18.
- 80 岩根紳治：糖尿病と肝疾患。平成28年度糖尿病療養指導士認定研修会。2016, 6, 19.
- 81 岩根紳治：肝疾患センターの取り組みに関して。外来看護師勉強会。2016, 8, 9.
- 82 岩根紳治：肝疾患センターの取り組みに関して。第1回医療行動経済学研究会。2016, 10, 1.
- 83 岩根紳治：ウイルス性肝炎について。家族支援講座 in 富士大和温泉病院。2016, 10, 21.
- 84 岩根紳治：肝疾患センターの取り組みについて。社会医学講座（医学部4年）。2016, 11, 30.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
特任教授	江口有一郎	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等 政策研究事業 (代表)	ソーシャルマーケティング手法を用いた心停止下臓器提供や小児の臓器提供を含む臓器提供の選択肢提示を行う際の理想的な対応のあり方の確立に関する研究	11,737
特任教授	江口有一郎	厚生労働科学研究費補助金	肝炎等克服政 策研究事業 (分担)	効率的な肝炎ウイルス検査要請者フォローアップシステムの構築のための研究	10,000
特任教授	江口有一郎	厚生労働科学研究費補助金	肝炎等克服政 策研究事業 (分担)	急性感染も含めた肝炎ウイルス感染状況・長期経過と治療導入対策に関する研究	1,000
特任教授	江口有一郎	厚生労働科学研究費補助金	肝炎等克服政 策研究事業 (分担)	小児におけるB型肝炎の水平感染の把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	200
特任教授	江口有一郎	厚生労働科学研究費補助金	がん推進対策 総合研究事業 (分担)	研究者と自治体の協働による、がん検診受診率向上等、自分自身で健康をまもる国民の行動変容を促す方法の開発と評価	500
特任教授	江口有一郎	厚生労働科学研究費補助金	エイズ対策研 究事業(分担)	HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究	1,000